

『鹿児島県史料集』とは？

『鹿児島県史料集』は、郷土資料の保存を図るとともに、地方史の研究や県民の文化向上に役立てることを目的として、昭和34年度から刊行しています。2019年10月現在、第58集まで刊行しています。

◇鹿児島県立図書館ホームページにて、PDFデータを公開しています。

鹿児島県立図書館（本館）> 貴重資料 > 鹿児島県史料集

◆『鹿児島県史料集』は、販売しておりません。

◇既刊行のものは、すべて当館で所蔵しており、貸出や複写が可能です。

◆国立国会図書館、鹿児島県内の市町立図書館・大学等附属図書館へは、発行の都度送付しています。

『鹿児島県史料集』刊行状況

No.	史料名	内 容	執筆者	刊行年度
第1集	薩藩政要録	本書は、文政11年改編の薩藩政要録（原名要用集）6巻、並びに嘉永4年以後の改編にかかる薩藩政要録（原名要用集）1巻を収めたものである。	桃園 恵真 五味 克夫	昭和34年度 (1959)
第2集	丁丑日誌（上）	本書は、西南戦争当時の鹿児島県令岩村通俊（当主一木氏）家蔵の明治10年鹿児島県庁日誌巻一より巻五までを収めたものである。	芳 即正	昭和36年度 (1961)
第2集	丁丑日誌（下）	本書は、西南戦争当時の鹿児島県令岩村通俊（当主一木氏）家蔵の明治10年鹿児島県庁日誌巻六より巻九までを収めたものである。	村野 守次	昭和35年度 (1960)
第3集	薩摩国 新田神社文書	本書は、薩摩国一宮社として古来より名社の間こえが高い鹿児島県川内市宮内新田神社現蔵古文書、並びに旧蔵古文書を収載したものである。	五味 克夫	昭和37年度 (1962)
第4集	一向宗禁制関係史料	本書は、薩藩一向宗禁制関係史料の主なる次の史料を収録したものである。「一向宗御禁制由来」「御当様就一向宗御禁止愚按補遺」「一向宗時々被仰渡御書附写」「御影講紊乱略記」	桃園 恵真	昭和38年度 (1963)
第5集	薩摩国 山田文書	本書は、鎌倉時代、薩摩国谷山郡山田・上別府村地頭職を有し、その所領山田の名を負った薩摩国守護島津氏の庶家山田氏の相伝文書を編年順に集録したものである。	五味 克夫 郡山 良光	昭和39年度 (1964)
第6集	諸家大概 職掌紀原 別本諸家大概 御家譜	本書は、島津家の大体を知るに便利な史料4部を収めたものである。	桃園 恵真	昭和40年度 (1965)
第7集	薩摩国阿多郡史料 山田聖栄自記	本書は、薩摩国阿多郡関係史料のうち主として戦国以前の中世史料を収録したものである。	五味 克夫 郡山 良光	昭和41年度 (1966)
第8集	御登御道中日帳御下向 列朝制度巻五六	本書は、御一門加治木島津家三万九千五百三十八石の江戸上下の格式や道中の次第を日記した史料と島津七十七万石の大名の江戸上下の格式・次第を詳説した史料である。	原口 虎雄	昭和42年度 (1967)
第9集	明治元年戊辰戦役関係 史料	本書は、「明治元年殉難人名誌」「戊辰戦役薩藩各隊行動」「明治戊辰戦役戦死負傷人名及報告集」「戊辰戦役出陣日誌」をおさめたものである。	村野 守次	昭和43年度 (1968)

第10集	伊能忠敬の鹿兒島測量 関係資料並に解説	本史料集に収録されているのは、編者が蒐集した「伊能測量」特に「鹿兒島測量」の資料の一部であり、幕府・測量隊側の関係資料である。	増村 宏	昭和44年度 (1969)
第11集	管窺愚考・雲遊雜記傳	本書は、伊地知季安の著作中代表的なもの、特に中世関係史料を集録したものであり、前者が天保4年稿、後者が文政9年稿である。	五味 克夫	昭和45年度 (1970)
第12集	川上忠塞一流家譜	本書には、川上忠塞一流家譜と同家譜に収録されていない川上忠塞家文書の一部を収録してある。	五味 克夫 桑波田 興	昭和46年度 (1971)
第13集	本藩人物誌	本書は、戦国時代を中心に、15世紀半より17世紀までの約2世紀にわたって活躍した島津氏の一門、及び家中の諸士のいろは順による略伝集である。	桃園 恵真	昭和47年度 (1972)
第14集	薩陽過去帳	本書前半「薩陽過去帳」は、主として明暦3(1657)年の大火＝振袖火事以降の薩藩出身者についての過去帳であり、死亡日毎に編集されたものである。	宮下 満郎	昭和48年度 (1973)
第15集	備忘抄・家久公御養子 御願一件	本書は、鹿兒島県立図書館所蔵の和綴3冊本からなる備忘抄並びに家久公御養子御願一件伊地知季安考按を集録したものである。	五味 克夫	昭和49年度 (1974)
第16集	鹿兒島県地誌 上	明治17年県から政府に提出した資料であり、各郡村の沿革や名所旧跡等歴史的事項はもとより、郡村単位で自然環境庶民生活全般に亘って具体的に記述されている。 上巻：鹿兒島郡，谿山郡，給黎郡，揖宿郡，潁娃郡，川辺郡，阿多郡を収録。なお，大隅国は欠となっている。	桐野 利彦	昭和50年度 (1975)
第17集	鹿兒島県地誌 下	明治17年県から政府に提出した資料であり、各郡村の沿革や名所旧跡等歴史的事項はもとより、郡村単位で自然環境庶民生活全般に亘って具体的に記述されている。 下巻：日置郡，薩摩郡，高城郡，出水郡，伊佐郡，日向地誌の南諸県郡を収録。なお，大隅国は欠となっている。	桐野 利彦	昭和51年度 (1976)
第18集	薩藩舊士文章	本書は、戦国末期から近世初頭にかけての薩摩藩の重職および平士の書簡など300点近くを集録したものであり、主に藩老，藩主の発出した書状等である。	五味 克夫 桑波田 興	昭和52年度 (1977)
第19集	薩藩先公貴翰 乾	本書は、戦国末期から近世初頭にかけての薩摩藩主の発出した掟・書状等を中心とした史料集である。	五味 克夫 桑波田 興	昭和53年度 (1978)
第20集	薩藩先公貴翰 坤	本書は、戦国末期から近世初頭にかけての薩摩藩主の発出した掟・書状等を中心とした史料集である。	五味 克夫 桑波田 興	昭和54年度 (1979)
第21集	小松帯刀傳 薩藩小松帯刀履歴 小松公之記事	本書は、幕末維新期の薩摩藩家老として重要な役割りを果たした小松帯刀の伝記関係をまとめた史料である。	芳 即正	昭和55年度 (1980)
第22集	小松帯刀日記	本書は、幕末維新期の薩摩藩家老として重要な役割りを果たした小松帯刀の安政2年から明治元年にかけて書かれた日記をまとめた史料である。	芳 即正	昭和56年度 (1981)